

平成 29 年 網走市議会
総 務 経 済 委 員 会 会 議 録
平成 29 年 3 月 22 日（水曜日）

○日時 平成29年 3 月 22 日 午前10時35分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 議案第37号 平成28年度網走市一般会計補正予算中、所管分について
2. 陳情第31号 網走バイオマス発電所事業計画に関する陳情
3. その他

○出席委員（8名）

委 員 長	渡 部 眞 美
副 委 員 長	井 戸 達 也
委 員	小田部 照
	川原田 英 世
	工 藤 英 治
	佐々木 玲 子
	田 島 央 一
	松 浦 敏 司

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

議 長	山 田 庫司郎
-----	---------

○傍聴議員（2名）

永 本 浩 子
古 都 宣 裕

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
経 済 部 長	後 藤 利 博
建 設 部 長	石 川 裕 将
農 政 課 長	川 合 正 人
建 築 課 長	小 原 功
都市開発課長	立 花 学

○事務局職員

事 務 局 長	大 島 昌 之
次 長	永 倉 一 之
総務議事係主査	寺 尾 昌 樹

午前10時35分開会

○渡部眞美委員長 それではただいまより総務経済委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、議案 1 件、陳情 1 件についての審査をいたします。

進行につきましては、最初に災害復旧費関係の追加議案を審査した後、陳情 1 件、網走バイオマス発電所事業計画に関する陳情について審査をいたします。

それでは最初に、議案第37号について一括説明を求めます。

あわせて一般会計補正予算に伴う繰越明許費補正も説明を一緒をお願いいたします。

○立花学都市開発課長 追加議案資料の 3 ページをごらんください。

平成28年度一般会計道路等災害復旧費補正予算、補助道路河川災害復旧事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、補助災害査定において、道路復旧の価値の一部が認められなかったことから、工事費1,000万円を減額補正するものであります。

また、のり面復旧が冬期間に及んだことなどから、年度内完了が見込めない事業費の一部を翌年度に繰り越しするものであります。

補正額であります、補正前の額が 1 億5,960万円、補正額が1,000万円の減額、補正後の額が 1 億4,960万円となり、財源内訳は記載のとおりであります。

歳入予算についても、記載のとおりでございます。

繰越明許費の内訳についてであります、事業費 1 億4,960万円のうち、5,250万円を翌年度に繰り越すものであります。

繰越額の財源内訳は記載のとおりであります。

次に、議案資料の 4 ページをごらんください。

平成28年度一般会計道路等災害復旧費補正予算、単独道路河川等災害復旧事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、補助災害査定で認められなかった道路復旧箇所が単独災害対象と

なったこと、及び工事落札差金等の精査により工事費270万円を追加補正するものであります。

また、のり面復旧が冬期間に及んだことなどから、年度内完了が見込めない事業費の一部を翌年度に繰り越しするものであります。

補正額であります、補正前の額が2億9,550万円、補正額が270万円、補正後の額が2億9,820万円となり、財源内訳は全額市債であります。

歳入予算については、記載のとおりであります。

繰越明許費の内訳についてであります、事業費2億9,820万円のうち、8,220万円を翌年度に繰り越しするものであります。

繰越額の財源内訳は全額市債であります。

次に、追加議案資料の5ページをごらんください。

平成28年度一般会計公園等災害復旧費補正予算、補助公園災害復旧事業について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、補助災害査定において仮設道路工の工法の見直しが必要となったことから、工事費1,060万円を減額補正するものであります。

補正額であります、補正前の額が1,800万円、補正額が1,060万円の減額、補正後の額が740万円となり、財源内訳は記載のとおりであります。

歳入予算については、記載のとおりであります。

次に、追加議案資料の6ページをごらんください。

平成28年度一般会計公園等災害復旧費補正予算、単独公園等災害復旧事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、つくし公園ののり面復旧箇所において、当初状況調査では崩土により確認できなかった地盤の緩みが確認され、新たにのり尻箇所の保護のために布団かごが必要となったこと、また、当初見込んでいなかった潮見ガーデン公園の被災が確認されたことから、工事費660万円を追加補正するものであります。

また、のり面復旧が冬期間に及んだことから、年度内完了が見込めない事業費の一部を翌年度に繰り越しするものであります。

補正額であります、補正前の額が510万円、補正額が660万円、補正後の額が1,170万円となり、財源内訳は全額市債であります。

歳入予算については記載のとおりであります。

繰越明許費の内訳についてであります、事業費

1,170万円のうち120万円を翌年度に繰り越すものであります。

繰越額の財源内訳は全額市債であります。

次に、追加議案資料の7ページをごらんください。

平成28年度一般会計公営住宅災害復旧費補正予算、単独公営住宅災害復旧事業について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、のり面復旧工事において、当初想定していた湧水箇所が広範囲に及び地下排水口の増設が必要となったこと、復旧工事で、隣接用地界の形状が変更したことに伴う用地測量が必要となったことなどから、測量設計費480万円、工事費530万円、合計1,010万円を追加補正するものであります。

補正額であります、補正前の額が2,930万円、補正額が1,010万円、補正後の額が3,940万円となり、財源内訳は全額市債であります。

歳入予算については、記載のとおりであります。

次に、追加議案資料の8ページをごらんください。

平成28年度一般会計農業用施設災害復旧費補正予算、単独農業用施設災害復旧事業について御説明いたします。

補正の理由及び内容であります、卯原内ダムへの明渠施設のしゅんせつ工事において、詳細調査により当初想定していた埋塞土量よりもふえたことから、工事費470万円を追加補正するものであります。

補正額であります、補正前の額が1,790万円、補正額が470万円、補正後の額が2,260万円となり、財源内訳は全額市債であります。

歳入予算については、記載のとおりであります。

以上でございます。

○渡部眞美委員長 それでは審査に入ります。

質疑ございますか。

○田島央一委員 5ページの公園等災害復旧費の補正予算のことでお伺いしたいと思います。

先ほど仮設道路の工法の変更ということだったのですが、減額の理由というのがわかりにくかったので、もう少し説明いただければと思うのですが。

○立花学都市開発課長 今回の補助公園の災害復旧事業の箇所といたしましては、鉄南にございます南公園の園路が被災を受けました。

当初、災害復旧において園路までに至る工事を行

う仮設道路を設定しなければならないという考えがございまして、そこの仮設道路を当初見込んでいた事業費が今回減額という形になったのですけれども、査定の中で、そこまでその仮設道路として大きく整備する必要はないのではないかというお話の中で、現道の園路から小型の機械を使いまして、十分作業ができるという査定の内容もございまして、減額という流れで今回減額させていただいております。

○田島央一委員 承知をしました。

もう一つお聞きしたいのですが、次の6ページ、これも公園等災害復旧費なのですが、つくし公園の一部の復旧ということですが、工事するにあたって、ある一定の期間は市民の方が入れない規制がされるような場所になっているのでしょうか。

○立花学都市開発課長 現在入れない形ということですか。

○田島央一委員 工事をする際に、公園に対し入園規制というか入ってはいけないというような形になるものなのか、全く関係ない場所なのか、お伺いしたいと思います。

○立花学都市開発課長 つくし公園の被災を受けた場所といたしましては、つくし公園の中にグラウンドがございまして、そこと貝殻公園という公園ののり面が崩壊いたしました。

工事期間中につきましては、その下部にございまず貝殻公園の使用は全部できないという状況の中で工事を施行するという形になります。

○田島央一委員 承知をしました。

最後に8ページの農業用施設の災害復旧費の補正で、卯原内ダムのしゅんせつという話だったと思うのですが、場所をもう少し特定した形でどの辺ということと、時期はいつかわかっているものがあれば教えていただきたいのですが。

○渡部眞美委員長 口頭で説明できますか。

○川合正人農政課長 卯原内の沈砂池の件ですけれども、そのあとに明渠もありますので、その明渠のほうが道道嘉多山卯原内停車場線のところになりますので、その上、卯原内のダムの上部のほうになります。

○田島央一委員 地図はありますか。

○川合正人農政課長 ここにあるのは明渠のところの地図なのですけれども、この上のほうにあります。

○田島央一委員 それから、時期について。

○立花学都市開発課長 施行時期につきましては既に終わっているのですが、12月までに全ての工事は終わっている状況でございます。

○田島央一委員 承知しました。ありがとうございます。

○渡部眞美委員 その他ございますか。

○松浦敏司委員 3ページのところで、ここも国の減額、国庫負担の減額ということですが、減額された理由というのはどういうことなのでしょう。

○立花学都市開発課長 災害の査定を受ける上で査定の基準というものがございまして、基本的に災害は、申請主義という形の中で認めていただけるという流れの中で工事をしていただくのですが、今回、被災を受けた場所につきまして、査定官のほうから、十分に維持管理をしておけばよかったであろう等の中身を指摘されたということを受けて、今回の被災については、公共災害としては認めていただけなかったということです。

○松浦敏司委員 なにかこのところ国の負担の軽減というのか、減額というのが目立つなというふう印象を持っているところです。

それからもう一つ、7ページの新しく建てた市営住宅のところだと思うのですが、湧水箇所が複数箇所見つかったということなのですが、あそこはもともと水の湧くところなのですね。

だからそういう意味では、当初の見積もりといたしますか、調査はどうだったのかなというふうに私なりに思ったのですが、当初の調査とその後の調査の違いというのは、どういうことでこのようになったのかと。

○立花学都市開発課長 今回、公営住宅用地ののり面が被災を受けた災害だったのですが、当初から湧水が出ているということについては想定した中で、金額としても予定をしていたところです。

しかし、今回、掘削を開始したという状況の中で、想定していた以上に湧水の量が非常に多かったということがございまして、さらに増設をするような形の湧水対策を行ったというのが流れでございます。

○松浦敏司委員 わかりました。安全に市民が暮らすためには必要なことなので、理解いたしました。

○渡部眞美委員長 ほかがございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですのでここでお諮りをいたします。

議案第37号平成28年度網走市一般会計補正予算に

ついて、全会一致をもって原案可決すべきものと決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのように決定をいたします。

○渡部眞美委員長 それでは次に、陳情第31号について審査をしたいと思います。

網走バイオマス発電所事業計画に関する陳情でございますが、先日の当委員会において、経過について理事者より説明を求めたところでございます。

この間の経過について、再度、理事者より説明を求めたいと思います。

○後藤利博経済部長 網走バイオマス発電所事業計画に関する陳情につきまして、御説明をいたします。

去る3月6日に開催をされました総務経済委員会後の陳情者並びに進出企業との調整や進捗状況でございますが、この間、網走市におきましては、陳情者と面談、また、進出企業との連絡を密にしまして、相互の理解の調整を進めてまいりました。

現段階では、両者ともに不安材料に関する対応につきまして、何らかの文書を取り交わすことで、お互い理解を得るということで方向性は一致しております。

現在は、その文書の内容や表記について調整をしておりますして、作成する文書の内容について了承いただいた場合には各人調印をし、合意することとなる予定でございます。

以上でございます。

○渡部眞美委員長 ただいまの部長の説明の内容からいたしまして、引き続き、継続の審査をしたいと思えますけれど、それにご賛同いただけますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、陳情第31号網走バイオマス発電所事業計画に関する陳情については、閉会中継続審査をすゝるゝとして報告することに決定をいたします。

その他何かございますか。

なければ、これもちまして総務経済委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時53分閉会
